

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-11	事務事業名 平和に関する学習・啓発活動事業	所管部課 市民生活部生活文化課					
事務事業の概要	事務事業の目的 平和の意義の普及および平和意識の高揚に努め、市民の豊かで平和な生活の維持向上に資すること。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)人権の平和の尊重(創1-1) (主要施策)平和意義の醸成					
	実施内容、実施方法 西東京市平和の日パネル展及びコンサート 非核・平和映画会 非核・平和コンサート 非核・平和学習会 ピースウォーク パンフレット作成	根拠法令等 西東京市平和推進に関する条例					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(市民との協働)					
評価指標の設定	活動指標名 実施回数	活動指標の考え方(定義) 非核・平和に関する行事を開催した回数					
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) 各事業の参加者数(目標は対前年度5%増)					
	非核・平和都市宣言の認知度	アンケートで、非核・平和都市宣言を認知している割合(平均80%以上の人に周知することが目標)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		2,029	1,020	712	998	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,029	1,020	712	998	
	所要人員(B)	人	2.00	2.00	2.00	2.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,492	16,546	16,656	16,656	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	18,521	17,566	17,368	17,654	
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 実施回数 )	千円	3,704	3,513	3,474		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			5	5
		実績値	回	5	5	5	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			1,120	1,092	
	実績値	人	869	1,067	1,040		
成果指標	目標値	%			80	80	
	実績値	%	-	71	65		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	参加者のアンケートからは事業の内容については好評を得ている。 参加者が関心のある者や高い年齢層に偏っているため、関心の薄い若い世代にも広く参加してもらう必要がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各市町村・都が様々な事業展開を行っている。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 4-1-11	事務事業名 平和に関する学習・啓発活動事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	--------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	若い世代の参加が少ない。事業によりばらつきがあるものの参加者が伸び悩むことがある。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	そのときの状況によって行事内容は異なっても、平和の意義の普及及び平和意識の高揚を図るために「平和に関する学習・啓発活動事業」は必要。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	経費等についてはかなり削減しているがさらなる工夫と努力が必要である。職員体制については応援体制も整っており充実している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	ほぼ全ての行事において誰でも参加できるように門戸が開かれている。また、参加者の受益者負担については、一部において実費程度の負担を求めているが、事業の内容・意義に鑑みれば適正である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	安定した参加者を確保するために、事業の意義ばかりに重点を置かず、集客力に注目した事業展開も必要である。また、PRの方法を工夫することにより若い世代の参加を実現する必要がある。

17年度における改善点	各事業の参加者には必ず非核・平和都市宣言についてPRする。コンサートの出演者や学習会の講演者を選定する際に若い世代の参加を一層意識する。
-------------	----------------------------------------------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。